

# 自校採点の結果を活用した指導改善

正答率の低かった問題に焦点を当て、6月に取り組む指導例を紹介します。

## 小学校 算数A

自校採点管内正答率 37.4%

自校採点県正答率 38.3%

2 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を、下の1から4までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- 1mの重さが12kgの鉄の棒があります。この鉄の棒0.8mの重さは何kgですか。
- 0.8Lで板を12㎡ぬることができるペンキがあります。このペンキ1Lでは、板を何㎡ぬることができますか。
- 赤いテープの長さは12cmです。白いテープの長さは、赤いテープの長さの0.8倍です。白いテープの長さは何cmですか。
- 長さが12mのリボンを0.8mずつ切っていきます。0.8mのリボンは何本できますか。

### 設問の出題の趣旨

小数の除法の意味について理解しているかどうかをみる。

### 正答率が低い要因として考えられること

- 数量関係を数直線などの図で表したり、読み取ったりする力が弱い。
- 基準量、比較量、割合の関係が捉えられていない。

【参考資料】平成30年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 (H30. 4 国立教育政策研究所 教育課程研究センター)

### 授業づくりのポイント

問題文の数量関係を把握するために、「言葉の式」や数直線等を用いて、2量の関係を的確に捉えさせ、計算の意味について理解を図る。

### 具体的な指導例(指導時期6月上旬)

わくわく算数(啓林館) 第5学年 P51「立式」

2.4mのねだんが96円のひもがあります。このひも1mのねだんを求める式をかきましょう。

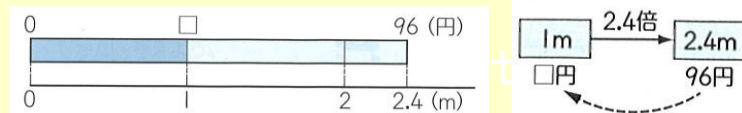
#### ①小数を整数に置きかえ、言葉の式を導く

2m、3mのひものねだんは、どちらも96円です。1mのねだんは、それぞれ何円ですか。 [ $96 \div 2 = 48$   $96 \div 3 = 32$ ]

$$\text{もとのねだん} \div \text{長さ} = \text{1mのねだん}$$

2.4mのときは…

#### ②図を用いて、代金、長さの2量の関係を視覚的に捉えさせ $96 \div 2.4$ になる理由を説明させる。



【つまずきの要因】  
・小数を整数に置き換えられない。  
・2量の関係を図に表すことができない。

長さが2.4倍になるので、ねだんは  $\div 2.4$  するといいな。

小数を含む計算の意味の指導にあたっては、①②どちらの考え方もさせながら、多くの問題に挑戦させることで定着を図りましょう。

#### ③適用題に取り組ませる。

#### ④まとめ、振り返りで何を学んだのかを明確にさせる。

#### ⑤家庭学習等で様々な問題に挑戦させる。

全学年で

系統性を意識し、下学年からテープ図や線分図、数直線等を用いて、数量関係を図に表したり読み取ったりする活動を取り入れる。